



## 第 66 回海岸工学講演会にて研究発表を行いました(2019/10/23-25)

場所：かごしま県民交流センター（鹿児島県鹿児島市）

参加者：山下准教授，門廻助教授，新家（M2），芹川（M1），榎谷（M1）

10月23日(水)～25日(金)の3日間、かごしま県民交流センター（鹿児島県鹿児島市）で土木学会が主催する「第66回海岸工学講演会」が開催されました。土木学会海岸工学委員会では、査読付きの論文集である「土木学会論文集 B2（海岸工学）」を編纂しています。海岸工学講演会は、この論文に掲載された論文について発表会を行ない、参加者との意見交換を行なうものです。

当研究室からは学術講演会で6編の論文が採択され、山下准教授，門廻助教授，新家（M2），芹川（M1），榎谷（M1）が登壇し、発表しました。また、Anawat SUPPASRI 准教授らが、Coastal Engineering Journal Citation Award を受賞いたしました。

各発表者の講演題目等は以下の通りです。

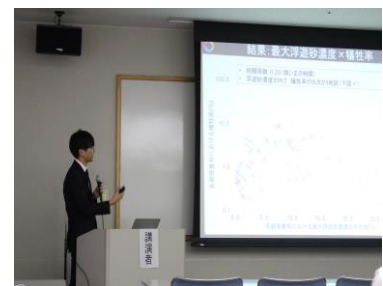
○山下啓，大石裕介，古村孝志，今村文彦	臨海都市部における津波による底質移動に起因した災害リスク評価に向けて
○山下啓，菅原大助，門廻充侍，有川太郎，高橋智幸，今村文彦	高知県における最大クラスの津波による地形変化と潜在的影響の評価
○門廻充侍，山下啓，高橋智幸，今村文彦	宮城県気仙沼市における震災データ活用による犠牲率と黒い津波外力との関係
○新家杏奈，佐藤翔輔，今村文彦	東日本大震災時の津波情報の需要状況と津波避難開始に関する分析
○芹川智紀，Anawat SUPPASRI，門廻充侍，今村文彦	東日本大震災での想定浸水外におけるハザードマップおよびリスク認知と避難実態
○榎谷亮太，Anawat SUPPASRI，山下啓，今村文彦，Chris GOURAMANIS，Natt LEELAWAT	タイ・プラトーン島を対象とした2004年インド洋大津波による海浜侵食とその回復要因の検討



授賞式の様子



山下啓准教授



門廻充侍助教



新家杏奈（M2）



芹川智紀（M1）



榎谷亮太（M1）

（文責：榎谷）